**対人援助実践をリブートするこの一冊**

主発表者：渡辺修宏（国際医療福祉大学）

連名発表者：小幡知史（放課後デイサービス事業所樹の子クラブ）・二階堂哲（茨城県立水戸飯富特別支援学校）

本ワークショップは，対人援助にかかわりのある発表者らによる「『推し』の書籍」紹介を通して，対人援助実践で学んだこと・学びたいことを自由に談義しあい，それぞれの臨床実践の立ち位置の確認や，対人援助実践へのモチベーション向上を図ることを目的とします。そのための具体的な手続きは，以下の通りとなっております。

**【１部：「私のこの一冊（実際はもっと多いかもしれません）」】**

さまざまな援助領域にかかわるプレゼンター４名が，自身の臨床の「支え」となった本や，臨床に迷った際の道標となった本，臨床を続ける糧となった本などを紹介します。

**【２部：プレゼンターカンファレンス】**

１部で紹介された書籍をモチーフに，それらから紡ぎ出される新たな学び・気づきについて，プレゼンターとオーディエンスの皆で自由気ままにトークします。

**【３部：オーディエンス参加型カンファレンス】**

オーディエンスから新たな書籍紹介を受け付けます（オンライン学会ならでの手続き）。その上で，自由気ままなトークを続けるとともに，未来志向で「今，ぜひ手に取りたい本」や「今こそ対人援助をリブートする本」の構想などについて，無責任に談義します。

以上に手続きにより，本ワークショップは，プレゼンターとオーディエンスにとってのそれぞれの対人援助のリブートを目指します。リブートとは，「明日からまた，気持ちよく，楽しく，効果的な援助実践に携わること」です。